



「優しい医療・楽しい職場」～地域の皆さまと共に～

共和病院
副院長 松下 直美

春爛漫な気候の中、今日もまた、当院の駐車場を大府市の循環バスが通っていきます。玄関前で乗降する方々を見る度に、胸が熱くなります。30年以上前にこの病院に就職した時には想像できない光景でした。単にバスが停留し利便性が高まったことが嬉しいだけでなく、循環バスの存在は、当院が地域の中の一部であることを象徴している気持ちになるのです。

30年前、私が当院に勤め始めることを伝えた際、以前から大府に住んでいる方からは「えっ、精神科病院でしょ」と意外な表情をされました。また、ある日病院前で転倒事故にあった学生さんを、職員が病院待合にお連れしたことがありました。その際、お迎えに来られた親御さんが「早く帰ろう、こんなところにいると頭がおかしくなっちゃうぞ」と言われ、応じた職員が傷ついている場面も目にしました。理解が得られていると感じている職能団体ですら、ややもすると、「精神科だけ特殊」という意見が出ることもありました。精神科の患者さんへの偏見に加え、そこに勤める職員も偏見に曝されている気持ちになったこともありました。

時は流れ、当法人では「優しい医療・楽しい職場」の理念のもと、患者さんに優しい医療とは何か?と改革が始まりました。楽しい職場づくりには、ひとりひとりがどのように働くべきかを考え自然に助け合って行動している姿も良く見ます。社会の理解も進み、専門職

は地域でも健康講座に関与させていただく機会もたくさんいただいております。地域のボランティアにも積極的に参加し、皆さまから頼りにさせていただく機会も増えました。公民館祭りでは、テント張りや片付けや出店の手伝いもさせていただき仲間に入れていただいています。デイケア患者さんは地域のごみ拾いを行い、美化に貢献しています。私自身も地域活動では、共和病院の職員ですと名乗るようにしてきました。赤い鼻をつけてクラウンチョコになる時も、共和病院の副院長と紹介を受けることも多くあります。

インクルーシブ社会は瞬間的に形成されるものではなく、ひとつひとつの関係性の構築で波及されていくものと考えます。昨年度はコロナ規制が緩和されたこともあり、ボランティアさんが日常的に来てくださりました。盆踊りや、てんてん祭りも再開され、患者さんと共に楽しんでおられる姿を見て、応援して下さっている地域の方には感謝でいっぱいです。

今年度も地域の皆さまに信頼される医療機関であるように、理念である「優しい医療・楽しい職場」を追求し続けていきたいと思っております。そして、専門職として、地域での貢献や発信をし続けて、この地域の包括的な社会形成に寄与できればと思っております。

地域の皆様には引き続きご指導をいただきながら、当院に足を運んでいただければ幸いです。



第15回 共和会研究発表会を開催して

3月2日(土)、当院の多目的ホールにて第15回共和会研究発表会を開催し、法人内外から95名の参加がありました。

精神科急性期病棟・慢性期病棟における実践をはじめ、認知症高齢者や強度行動障害者への働き掛け、外国人技能者育成の取り組み等の5題の演目を介護福祉士、看護師、作業療法士らが発表しました。

参加者から「外国人技能者への実践は、ことばと文化の違いがある中で病棟職員が工夫をしながら教育に携わり、お互いとともに成長していることに感心しました」、「精神科における急性期という限られた期間の中でも、回想法にて対象者に笑顔やホッとする時間を提供し、症状の安定に繋がる取り組みは参考になりました」、「睡眠障害のある認知症高齢者に対して、馴染みのあるラジオ体操を用い活動と休息のバランスを考えた関わりは、とても興味深かった」、「長期入院者への対応は、担当者の優しさから始まった支援で、対象者の強みを活かした関わりが素晴らしいと感動しました」、「強度行動障害者へは多職種で関わることで援助の選択肢が増え、対象者の生活の質向上と退院後を見据えた生活支援の実践は説得力がありました」等、たくさんのご意見をいただきました。

発表者をはじめ、患者様の治療やケア・リハビリテーションに関わっている職員全員の日々の取り組みの積み重ねがあってこそ、このような意義のある会が開催できたと実行委員一同感じています。参加された方、関係者の皆さま、本当にありがとうございました。



事業所紹介パネルを展示し好評でした。

実行委員長 本田 純
実行委員長補佐 村瀬 舞

プログラム

- 1 外国人技能者育成の指導方法について振り返る
～介護技能実習評価試験・日本語検定合格を目指して～
梶崎 龍 (介護福祉士)
- 2 精神科救急急性期医療入院料病棟における
集団回想法に参加したスタッフの気づき
井上 梨花 (看護師)
- 3 睡眠障害のある認知症高齢者に対する日中活動
～集団ラジオ体操を実施して～
谷川 舞香 (看護師) 三島 ゆかり (看護師)
- 4 精神障害をもつ長期入院患者へのリカバリー支援
～未来に希望をもつ感覚をもち親孝行をするまで～
大嶋 ひとみ (准看護師)
- 5 異食のある強度行動障害者が摂食動作に
変化をもたらした実践報告
藤松 昌子 (作業療法士)



共和病院には、患者様のご病状に合わせた最適な治療が受けられるよう、様々な機能の病棟を6つ備えています。毎号それぞれの特色を紹介しています。

C-3 病棟

C-3病棟は、病床数40床の精神救急急性期病棟です。統合失調症、気分障害、認知症、発達障害など多岐にわたる症状をお持ちの方が入院されています。急性期から生活の立て直しまでを行い、90日以内の退院を目指します。

私たちの病棟では、患者様の個別性を大切に、患者様自身がこれからの生活について主体的に考えていくための支援を実践しています。入院初期から医師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士、管理栄養士、薬剤師、公認心理師で情報共有し、時には当事者を含めて患者様参画型カンファレンスを実施しています。

また、行動制限に頼らないケアの工夫をしています。患者様の行動の意味を追求し、倫理的配慮のもと柔軟な支援を検討しています。



急性期の状態から、患者様が自分自身を取り戻す経過は、私たちの原動力となっています。患者様が安心して望む地域生活ができるよう日々奮闘しています！

病棟責任者 岩崎 愛

障害福祉サービスをご利用ください

相談支援事業所みらいです。

みらいでは、障害者総合支援法にもとづいて相談支援事業を行なっています。

障がいをもつ方（者・児）が自立した生活を送り、自身で希望する夢や希望に対して必要な支援を、自分で選び、自分で決めることができたり、社会参加ができるよう、話を伺い、一緒に考えていきます。

障害者総合支援法にもとづく障害福祉サービス（グループホーム、ヘルパー、就労継続支援、放課後デイサービスなど）の利用を希望されるご本人、ご家族に対して、障害福祉サービスの利用申請に必要なサービス等利用計画を作成したり、サービスの利用にまつわる相談に対応したり、関係機関との連絡調整なども行います。

サービスの利用開始後も、定期的にご本人宅や事業所へ訪問して、生活にまつわるご相談に応じたり、必要に応じて医療機関や事業所と連絡をとったり、話し合いをすることもあります。

相談をお受けする相談支援専門員は、精神科で実務経験を有する看護師、精神保健福祉士の資格を有する職員ですので、安心してご相談ください。

責任者 平野 みずえ



退院後の過ごし方を
どうしたらいいんだろう

通院しながら、
日中どこかに通いたい

自分と同じような経験を
している人たちと
交流したい

仕事をしたいけど、
不安がある



など感じておられる
方はお電話にてご連絡
ください。
TEL：0562-46-0787

編集後記

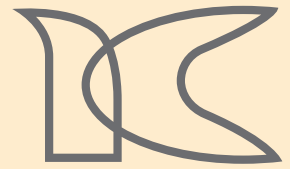


当法人は66年目の春を迎え、今年も看護師、作業療法士、精神保健福祉士など多職種が入職しました。今号で紹介させていただいた研究発表会での発表者をはじめ、永年勤続で表彰された職員の中には、新卒で入職し経験を積んだ職員もおります。職員の経験が、

共和病院をはじめとした法人の歴史に繋がっていることを嬉しく思います。

これからも法人の取り組みとともに、様々な職員を紹介させていただきます。

広報委員会 丸山 浩史



共和会理念

『優しい医療・楽しい職場』

私たちが目指す『優しい医療』とは

- まごころをこめてやすらぎと癒しの提供
- あなたの安心と希望ある地域生活の支援
- それぞれの専門性を活かした
最良の医療・介護サービスの提供

私たちが目指す『楽しい職場』とは

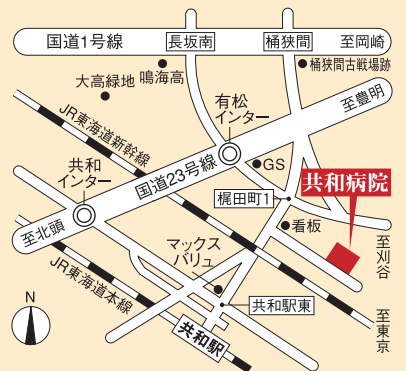
- 職員のチームワークと創造性が
高められる職場
- 職員のレベルアップと仕事の充実が
感じられる職場
- 職員の満足が皆様へ反映される職場

基本方針

～当院をご利用の皆様へ～

わたしたちは、利用者の皆様が安全かつ納得のいく医療を受けていただくことを目指し、それぞれの尊厳を大切に、思いやりのある医療を提供します。さらに、地域関係機関との密接な関係を保ち、地域の医療水準の向上に努めます。

1. あなたは、個人的な背景の違いや病気の性質などにかかわらず、必要な医療を受けることができます。
2. あなたは、医療の内容、その危険性および回復の可能性についてあなたが理解できる言葉で説明を受け、それを十分納得して同意したのちに、医療を受けることができます。ただし、必要に応じて主治医の判断によってご家族、代理の方にお話をする場合もあります。
3. あなたは、今受けている治療、処置、検査、看護・介護、食事その他についてご自分の希望を申し出ることができます。また、他の医療機関に転院したい場合は、必要な情報を提供致します。
4. あなたの医療上の個人情報は保護されます。
5. あなたの社会でよりよい生活が提供されるよう、地域関係機関との連携を図ります。



特定医療法人 共和会

共和病院

愛知県大府市梶田町2-123

診療科目

内科・消化器内科・呼吸器内科・神経内科
精神科・心療内科・循環器内科・放射線科
リハビリテーション科・歯科

TEL.0562-46-2222(代)

URL <http://www.kyowa.or.jp/>

笑いと健康の街づくり

大府市企画の「OBU-1グランプリ」が、2023年11月に大盛況のなか開催されました。

当法人は、その取り組みに寄付させていただき、先日岡村市長様より感謝状をいただきました。

社会がさらに笑いに包まれますように。



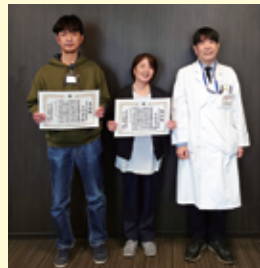
表彰おめでとうございます!

当院で30年以上、患者様への医療と福祉に精励尽力されたことが認められ、日本精神科病院協会より表彰を受けました。

表彰は協会から託され、共和病院 西岡院長より表彰いたしました。

表彰者

中井 恵子さん (看護師)
木村 勝文さん (栄養士)



左より木村、中井、西岡院長

大府市障がい者雇用事業所連絡協議会より、優良勤労表彰式が行われました。

当法人からは、洗濯業務で長く勤務されている小岩井一宏さんが表彰を受けました。

表彰式は2024年1月15日に「おおぶ文化交流の杜」にて開催されました。



★ラジオ番組★

毎月 第2月曜日19:00～19:30

MID-FM 76.1

ラジオパーソナリティー
共和病院 副院長 松下直美

こころの病を持たれている方をはじめとする皆さまに
温かいメッセージをお送りします。是非お聞きください。

おもいやり共和の
キラキラチアナイト



当院HPから過去の放送分も聴くことができます。

お知らせ

8月10日(土)～8月14日(水)は、
お盆につき外来診療を休診させていただきます。